

# 鶴ヶ島防災だより ～ 地域で防災について話し合おう ～

## ① 鶴ヶ島市の避難所 Q&A

### Q. そもそも避難所って何？

A. 「避難所」とは「難（災難）」を「避」ける「所」

つまり、大規模な地震や水害など「災難」で、皆さんの家が倒壊や浸水被害により、家にいると危険な場合、または家で暮らすことができなくなってしまった場合に避難する所になります。

災害が起こったとしても、ご自宅が安全であれば、避難所に来る必要はありません。

また、被災地から離れた、安全な親戚や友人の家に避難するのも選択肢の一つです。

### Q. 鶴ヶ島市に避難所って、何箇所あるの？

A. 22箇所あります。

- ・各小中学校 13校（避難所）
- ・市民センター 6センター（福祉避難所 兼 自主避難所）
- ・清風高校 1校（福祉避難所）
- ・女性センター 1センター（福祉避難所）
- ・海洋センター 1センター（避難所 兼 帰宅困難者対応施設）

### Q. 避難所って、全部同じ役割なの？種類があるの？

A. 鶴ヶ島市では22箇所ある避難所を使い分けています。

☆これだけは覚えてね「地震災害は小中学校に避難」で「台風など風水害は市民センターに避難」☆

**避難所**：主に地震災害の場合に、小中学校を使用し開設します。

地震災害は市内全体が被災するため、広い小中学校の体育館を使用します。

**福祉避難所**：避難所（小中学校）で、共同生活することが困難な方（障害をお持ちの方など）を受け入れる避難所になります。必要な場合に開設させるため、初めから開設されません。

**自主避難所**：主に風水害の場合に、市民センターを使用し開設します。

鶴ヶ島市には、大はん濫して家が流されてしまうような大きな河川はありませんが、大雨により浸水する地域があります。家にいることが心配な方のために開設します。

**帰宅困難者対応施設**：災害時に電車の運行停止や車が大渋滞したことで、帰宅できなくなった方を一時的に受け入れる施設です。

（ワカバウォーク内の若葉駅前出張所も帰宅困難者対応施設としています。）

### Q. 避難所は誰が主体となって開設・運営していくの？

A. 避難所の開設と運営は、**避難所に来た地域の皆さんが主体**となって行います。避難所はホテルや旅館と違います。自治会などの地域団体が中心となり、地域の皆さんで協力して避難所を開設し運営していくものです。自主防災組織は地域団体の一つです。

また、避難所となる学校の先生や市役所の職員も一緒に避難所運営を行いますが、学校の先生や市役所の職員は、避難所以外の災害対応も行っているため、避難所には数人しかいません。

今、この防災だよりを読んでいる**あなたも、避難所では運営者の1人となる可能性**があります。

# 鶴ヶ島防災だより ～ 地域で防災について話し合おう ～

## ② 鶴ヶ島市の災害備蓄品 Q&A

### Q. 避難所の食料などは、どのくらいあるの？

A. 鶴ヶ島市内全体で**3, 162人×1.5日分**しかありません。

鶴ヶ島市の人口は約7万人ですが、埼玉県地震被害想定調査では、鶴ヶ島市に震度6強の地震が発生した場合の最大避難者数は3, 162人と想定されています。

その想定結果を基に、市では3, 162人×1.5日分を備蓄しています。

また、市内に備蓄されていませんが、埼玉県でも3, 162人×1.5日分を備蓄（川島町に備蓄）してくれているので、県と市を合わせて3, 162人×3日分が備蓄されていることとなります。

### Q. 3, 162人×3日分で足りるの？

A. 市役所だけの力（3, 162人×3日分）だけでは、足りません。

市では、3日間を耐える必要最低限の食料しかないため、それ以降は、**国や県、災害時協定事業者などからの救援物資で補っていくもの**となっています。

また、**各ご家庭での備蓄品（自助の力）に頼らなければ、災害は乗り越えられません。**

この問題は、鶴ヶ島市だけでなく、全国どこの市町村でも同じです。

### Q. 家でどのくらい備蓄品を準備しておけばいいの？

A. 最低でも「家族の人数×3日分」、推奨は「**家族の人数×7日分**」です。

災害発生後に直面する問題が、物が品薄になることです。近所のスーパーやコンビニなど生活物資を取り扱う店舗では、「売り切れ、品切れ」状態になってしまいます。

この状況を回避するためにも、あらかじめ、ご自宅で備蓄品のご用意をお願いします。

### Q. 家族の人数×7日分を備蓄するのって大変じゃない？

A. 「**ローリングストック**」という**備蓄方法**があります。

災害発生後は停電になり、電力を失う可能性があります。まずは冷蔵庫の中の傷みやすい食品から優先的に食べ、その次に普段食べているインスタントラーメンやパンを食べます。

これ以降は、缶詰やアルファ化米などの非常食を食べて過ごすのが、災害時の対処方法の一つです。

非常食といわれる長期間の賞味期限をもつ災害時専用に作られた食品の備蓄も大変重要ですが、正直なところ、値段も高く、あまり美味しいものとは感じないかもしれません。

そこで、最近ではフリーズドライ食品や乾麺など、1年程度の賞味期限のものが注目されています。

調理も簡単で、味も美味しいため、普段からご家庭でも食べられています。**普段から購入しているこういったものを多めに買って置き、消費したら、その分を買い足す。**これを繰り返すことで、常にご家庭でも食料を備蓄している状況を作り出すことができます。

### Q. 食料品の他に備蓄しておくものは？

A. ローリングストック備蓄には、**水、カセットコンロ、ガスボンベ**を併せて用意する必要があります。

また、食べるのは我慢できても、トイレは我慢できません。断水でトイレが使えない可能性があるため、**非常用便袋**などの備蓄品もホームセンターなどで購入しておきましょう。